

経済連情報 6

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2025. 6
● NO.1329

直接販売を強化! 県産農産物の販路拡大に取り組む「特販課」

Main topics

直接販売を強化!
県産農産物の販路拡大に取り組む「特販課」…01

topics&news

ガーベラ記念日にちなみ
県知事らに県産ガーベラ贈呈 ……………03

乾椎茸産業の発展を目指す
第44回静岡県乾椎茸箱物品評会 ……………03

効率的な輸送体制の確立へ
令和7年度合同物流セミナーを開催 ……………04

旬の県産農産物をPR
豊洲市場で久能葉しょうがが試食宣伝会を開催…04

「母の日」静岡県産花き消費宣伝
園児へカーネーションをプレゼント ……………05

新任JA営農経済職員が知識技能を習得
営農経済事業初任者研修会……………05

県内16産地の新茶をPR
県知事へ新茶を贈呈 ……………06

長野県と連携し安定供給へ
静岡県・長野県セルリー生産販売推進会議を開催 …06

最新研究紹介

暑い夏を乗り切る!
水稻「にじのきらめき」の栽培方法 ……………07

お知らせ

生活葬祭課からのお知らせ ……………09
JA農業機械大展示会のご案内 ……………09
職員紹介……………10



▲県知事へ新茶を贈呈



▲園児へカーネーションを手渡す部会員ら

直接販売を強化!

県産農産物の販路拡大に取り組み

「特販課」

I はじめに

J A静岡経済連3か年計画では、生産コストを考慮した適正な価格形成と販売力強化を掲げています。これに対応する戦略としてみかん園芸部特販課が「系統出荷物の販売強化に取り組みとともに、実需マッチングによる直接販売の促進・取扱いの拡大」に取り組んでいます。

今回のメイントピックスでは、特販課の取り組みについてご紹介します。

II 特販課の事業について

特販課の主な事業内容は市場を介さず実需者(量販店や飲食業者、加工業者等)への直接販売を行い、生産者と消費者を結ぶ役割を果たす「直販事業」と県下J Aファーマーズマーケットの店舗支援を行う「ファーマーズマーケット事業」の二つの事業を行っています。

1 直販事業

①需要リサーチによる商品企画提案の強化
主な取引業者は量販店、仲卸、飲食

品目	取引先	用途
イチゴ	洋菓子店 量販店	ケーキ スイーツ原料他
レタス	加工業者	業務加工用 (カット野菜)
ミニトマト	量販店	関東地区 量販店
小松菜	量販店	東海地区 量販店
キャベツ	加工業者	業務加工用 (カット野菜)
タマネギ	量販店	東海地区 量販店

▲表1 令和6年度特販課主要取引品目



▲(写真1) 量販店配送センターへの直接納品

食業者、加工業者です。市場出荷以外に多様な販売チャンネルを持つことで、取扱いの拡大を図っています。取引業者と直接商談することで、取引先ごとの規格や出荷のタイミング、数量など柔軟な商品提案を行っています。中間業者を介さないことで鮮度の高い状態で取引先へ届けることができるため、本県産青果物の品質の高さを一層実感していただいています(写真1)。

②J Aと連携した生産量の維持拡大
様々な取引先との信頼関係を築くため、J Aと連携した生産振興と契約販売に取り組み、さらには、産地基盤の強化と生産量の維持拡大を図っています。J Aの集計した計画を基に、出荷納品計画を作成し取引先との調整を図り、需要に沿った出荷対応に取り組んでいます。

また、生産出荷コストを抑えるために、出荷容器や荷姿の大ロット化、簡素化規格の取扱にも取り組んでいます(写真2,3)。

③県域機能を発揮した買取販売の強化
本県産青果物の特徴の一つとして、少量多品目の生産があげられます。様々な品目を商品提案できる一方で出荷ロットが少なく、輸送効率の悪さが要因で、取引に繋がらない事もあります。特販課では、県下J Aと協力し、集荷場の枠を超えて集荷することで、出荷量確保と有利販売に繋がっています(写真4)。



2 ファーマーズ事業
 県下JAのファーマーズマーケットの集客や取扱い拡大に向け、店舗支援の強化に取り組んでいます。FM専任担当者が、供給店舗のニーズに合った商品提案に取り組みとともに、インスタアップロモーションを実施しています。季節商材の販売提案を強化し、需要期やイベントに向けた商品供給に取り組んでいます。近年は他県JAとの連携を実施し、「JAみなみ信州」の桃、ナシ、リンゴなどを商品とし供給提案しています。今年度も夏からの供給に向けて商談を進めています（写真5）。



▲（写真2、3）契約販売の一例（加工業者向けのキャベツ、大根）

III おわりに
 県下JAへの生産・販売提案と重要取引先とのパートナー関係の構築・販路開拓により、特販課事業も年々取扱いを増やしてきています。また、取引先からの信頼も高まっており、圃場視察や店舗職員の研修を兼ねた収穫イベントなど、産地を巻き込んだ良好な関係を築いています。今後も本県産の高品質な青果物を消費者に届けるべく提案をして参ります。

問い合わせ先
 ●みかん園芸部 特販課
 電話：054-284-9715



▲（写真4）量販店での本県産売り場の展開



▲（写真5）JAみなみ信州の桃



▲（写真6）量販店のバイヤーによる産地視察



▲（写真7）店舗青果担当者による収穫イベント

ガーベラ記念日にちなみ 県知事らに県産ガーベラ贈呈

静岡県花卉園芸組合連合会（事務局・野菜花卉課）ガーベラ部会の加藤信男部長らは4月15日、静岡市葵区の県庁を訪れ、鈴木康友県知事に静岡県産ガーベラの花束を贈呈しました。出荷量・産出額ともに全国1位の県産ガーベラをPRするため4月18日（よいはなの日）にあわせて行われました。

同部会の生産者らは「高温や生産コストの上昇など栽培環境は厳しいが、主産県として消費者のニーズに



応えていきたい」と話し、生産状況や消費拡大の取組を鈴木知事へ報告しました。
記念日は、1958年4月にガーベラの国産品種が初めて品種登録されたことや、18日の「418（よいはな）の語呂合わせで制定されました。



▲鈴木知事と歓談する生産者ら

乾椎茸産業の発展を目指す 第44回静岡県乾椎茸箱物品評会

野菜花卉課は4月15日、伊豆市のJAふじ伊豆修善寺宮農経済センターで、「第44回静岡県乾椎茸箱物品評会」を開きました。最高位の林野庁長官賞・一般財団法人日本きのこセンター理事長賞は、JAふじ伊豆の小柳出勝さんが受賞しました。

総出品点数は、昨年より206点多い1199点でした。県農林技術研究所森林・林業研究センターの荒生安彦センター長ら7人の審査員は、一次選抜された29点について審査を実施しました。金賞6点、銀賞7点、銅賞9点の計22点が入賞しました。
上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内は銘柄）。



▲審査の様子

- 金1席 林野庁長官賞
一般財団法人 日本きのこセンター理事長賞
小柳出勝（上冬菇）
- 金2席 静岡県知事賞
森産業株式会社社長賞
桑名二郎（大葉中肉）
- 金3席 全国農協同組合連合会経営管理委員会賞
小柳出勝（大葉厚肉）
- 金4席 日本椎茸農業協同組合会長賞
山田勇（花冬菇）
- 金5席 静岡県椎茸産業振興協議会長賞
石井隆一（中葉厚肉）
- 金6席 富士伊豆農業協同組合会長賞
堀江富男（中葉中肉）



▲金賞を受賞した乾椎茸

効率的な輸送体制の確立へ 令和7年度合同物流セミナーを開催

静岡県系統経済事業研究会とJ A 営農経済部長会は、4月28日、県農業会館で合同物流セミナーを開きました。セミナーを通じて物流2法改正の内容を周知し、J Aグループと物流事業者の連携を強化することが目的で、県トラック協会や県内J Aの役員ら約50名が参加しました。セミナーでは、同協会の筒井浩専務理事が「持続可能な物流体制の確立をテーマに講演しました。荷主と物流事業者が連携した物流効率化への対応として、ドライバーの荷待ち時間削減や棚入れ、搬入などの付帯作業の負担軽減を呼びかけました。J

A全農からは、物流コスト上昇対策として、ストックポイントの活用やパレットを使った一貫流通、梱包資材などの規格統一の取り組み状況を報告しました。本会は、経産省、農水省、国交省が定める物流ガイドラインへの対応状況について報告し、今後の取り組み強化に向けた計画を説明しました。石川和弘理事長は「持続可能な農業と食の提供のため、物流事業者や取引先と連携して物流の適正化、効率化への取り組みが必要不可欠。セミナーを取組推進の一助にしてほしい」と話しました。

旬の県産農産物をPR 豊洲市場で久能葉しようが試食宣伝会を開催

東京事務所は4月18日、東京都内の豊洲市場（東京シティ青果棟）でJ A 静岡市産「久能葉しようが」の試食宣伝会を実施しました。同J A久能葉しようが委員会の海野明義委員長ら9人が、集まった市場関係者へ出荷最盛期を控える「久能葉しようが」の試食を提供しました。

海野委員長は「今年も例年通り良い葉ショウウガが出荷できている。ぜひ、味を確かめてほしい」と挨拶し、消費拡大を呼びかけました。

「久能葉しようが」は、久能地区の温暖な気候と豊富な日照量を活かして他産地に先駆け3月初旬から収穫が始まり、7月頃まで出荷されます。ぜひご賞味ください。



▲挨拶する石川理事長



▲セミナーのようす



▲提供した「久能葉しようが」



▲買参人へ試食を配る関係者ら

「母の日」静岡県産花き消費宣伝
園児へカーネーションをプレゼント

静岡県花卉園芸組合連合会カーネーション部会（事務局：野菜花卉課）は5月9日、東伊豆町の東伊豆認定こども園の園児ら約100人に、カーネーションの花束をプレゼントしました。

同部会は例年、「母の日」に合わせて花とともに母親への感謝の気持ちを伝えてもらうと、カーネーション栽培が盛んな同町周辺の園児へ贈呈事業を行っています。

贈呈式では、同部会の関係者ら6人が園児に一人ずつ花束を手渡ししました。受け取った園児はお礼の歌を披露し、部会員と交流を深めました。



同部会の山田弘志部会長は「園児には日頃の感謝の気持ちを込めて母親に渡してほしい。取り組みを通じて家族や大切な人に花を贈る習慣が広がり、家庭に笑顔が増えたらうれしい」と話しました。



▲挨拶する東伊豆花組合の田村利昌組合長



▲園児へカーネーションを手渡す部会員ら

新任JA営農経済職員が知識技能を習得
営農経済事業初任者研修会

生産振興開発課は、JA静岡中央会と共催で、営農経済部門の新任職員の研修会を開きました。

研修会は、第1班が5月8日と9日、第2班は5月29日と30日のそれぞれ2日間実施しました。

1日目は、営農指導や販売・購買事業、農政に関する基礎知識について講義しました。2日目は、本会大井川肥料工場と同課の市川健コンサルタントによる農薬希釈・散布方法、肥料農薬課による肥料の基礎知識の講義と、本会施設の視察研修として、



▲グループワークする参加者ら

ペレット肥料製造工程や肥料倉庫、土壌肥料分析センターを見学しました。

研修会の後期日程は12月に実施します。



▲肥料工場の視察



▲土壌肥料分析センターの視察

県内16産地の新茶をPR 県知事へ新茶を贈呈

（公社）静岡県茶業会議所は5月14日、静岡市葵区の静岡県庁で鈴木康友県知事に令和7年産の県産新茶を贈呈しました。贈呈式には同茶業会議所の長瀬隆副会頭、本会の石川和弘代表理事理事長、県内16の茶産地の茶娘やPRアンバサダーらが参加しました。



▲前列左より石川理事長、鈴木知事、長瀬副会頭と県内16茶産地の代表者



生産者を代表し新茶を贈呈した石川和弘理事長は「本年は、大相撲5月場所での静岡茶PRなどにより、消費拡大に努めている。各産地のおいしい静岡茶を是非堪能してほしい」と話し、鈴木知事は「今年も高品質なお茶を多くの消費者に届けることができ、喜ばしい。県としても世界のお茶まつりの開催などをつうじ、世界に向けて静岡茶の魅力を発信していく」と話しました。

旧金谷町	島田	御前崎	藤枝	静岡	清水	富士	沼津	県内16茶産地
浜松	森町	磐田	袋井	菊川	掛川	牧之原	川根本町	



▲鈴木知事（左）に新茶を贈呈する石川理事長

長野県と連携し安定供給へ 静岡県・長野県セルリー 生産販売推進会議を開催

浜松洋菜セルリー共販幹事会（事務局・西部みかん園芸課）は4月22日、浜松市中央区で「静岡県・長野県セルリー生産販売推進会議」を開催しました。JAとぴあ浜松、JA松本ハイランド、JA信州諏訪の生産者と職員、本会職員、JA全農長野の職員ら28名が参加しました。同会議では、セルリーの周年安定供給と消費拡大を目的に、静岡県・長野県それぞれの生育状況と出荷見通しを報告しました。

西久保武揚幹事長は「産地では生産量の確保や気象に適した生産技術の確立など多くの課題を抱えている。消費者に安定的にセルリーを届けられるよう、長野県との連携により課題解決に取り組む、生産維持や消費拡大につなげていきたい」と話しました。



▲挨拶する西久保幹事長

農林技術 研究所 だより

暑い夏を乗り切る！ 水稻「にじのきらめき」の栽培方法

一 はじめに

令和3年度に高温耐性・収量性・耐倒伏性・食味に優れた「にじのきらめき」を県奨励品種に採用し、現地に普及させてきました。

しかし令和5年と同6年は観測史上最も暑い気温となり、「にじのきらめき」においても収量の低下や一等比率の低下が発生しました。

二 異常高温による減収と品質低下

令和6年の水稻栽培期間の平均気温は、平年比+2.1℃/日と著しい高温(図1)であり、本県産「にじのきらめき」の農産物検査等級の一等比率は46%(前年比マイナス29%)まで低下しました。

当研究所においても本品種の4月下旬移植での試験成績は、平年(過去7年の平均)と比べ収量が17%減少(図2)し、外観品質(数値が小さいほど高品質)は1.8ポイント不良となりました(図3)。

原因は白未熟粒の発生と茶米の増加でした。

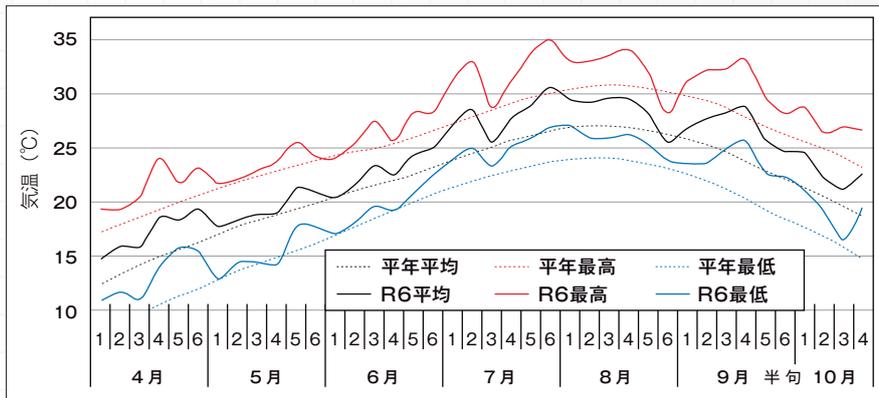


図1 令和6年度の気温(磐田)

三 栽培方法の再検討
そこで当所は「にじのきらめき」の栽培方法を再検討し、栽培暦の内容を見直しました。検討内容は以下の項目です。

- ① 施肥量
- ② 追肥量
- ③ 刈取適期

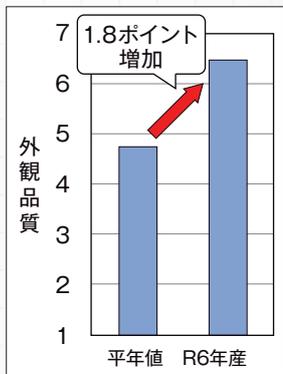


図3 外観品質
※数字が低いほど高品質

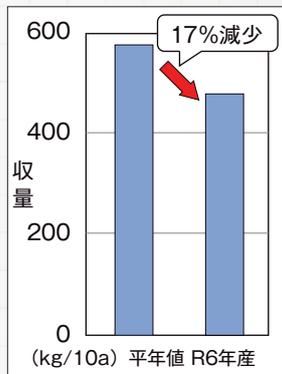


図2 収量

四 試験結果

「にじのきらめき」の精玄米重量と籾数の関係を調べた結果、収量600kg/10aを達成するための籾数は28、200粒/m²とした(図4)。その籾数を確保できる幼穂形成期(幼穂長1〜2mm時)の生育量(草丈×茎数)は、31.1千cm^{*}/m²で

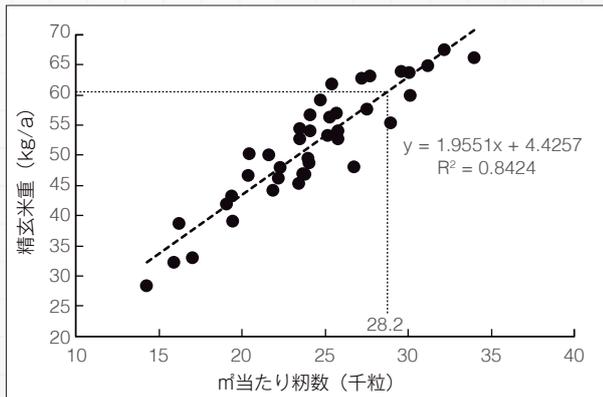


図4 籾数と精玄米重(収量)の関係

私が紹介します!



静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
上席研究員

山下 達也

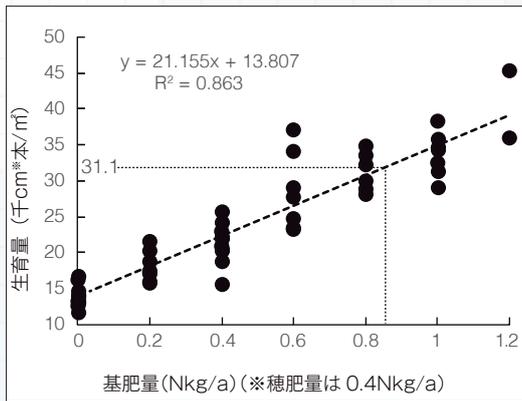


図6 生育量と基肥量の関係

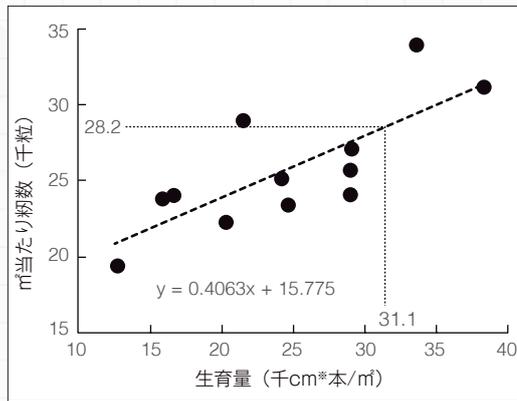


図5 生育量（草丈×茎数）と籾数の関係

あり（図5）、これを達成するために必要な基肥N量は約0.8kg/a（図6）、穂肥N量は約0.4kg/a（テーラブル）であることが明らかになりました。

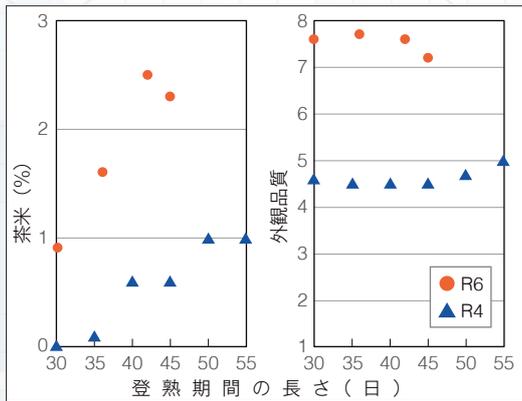


図8 登熟期間の長さとお観品質・茶米の関係

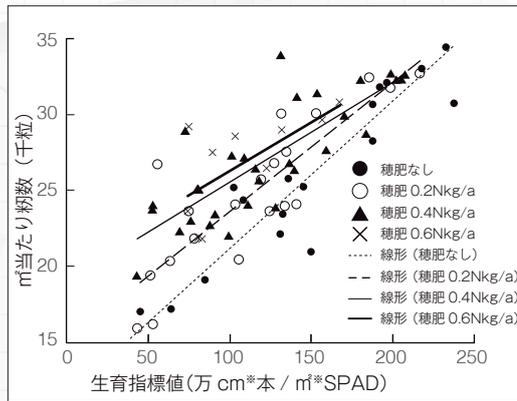


図7 生育指標値と穂肥量の関係

幼穂形成期の診断で生育量が不足している場合は穂肥を増肥することで必要籾数が確保されました（図7）。また、出穂から収穫までの日数（登熟期間）とお観品質との関係を再調

査し、お観品質が良く、茶米の発生が少ない刈取時期を再確認しました（図8）。

五栽培層の改定

これらの試験結果などから栽培層を改定しましたので、以下に概要を示します。

肥料は一発肥料の場合は早生用の銘柄を使用し、施肥量は10.8Nkg/10a程度とします。なお、側条施肥の場合はこれから一〜二割減肥可能です。

幼穂形成期に茎数が400本/m²以下であった場合は、穂肥を2Nkg/10a増肥します。一発肥料の場合は穂肥時期（出穂25日前・幼穂1mm）に2Nkg/10a追肥します。

収穫時期の判断については、本品種は止葉が穂にかかり帯緑歩合が判断しにくいので、出穂後36〜43日（出穂後からの積算温度は、1、100〜1,250℃）、帯緑歩合5〜10%程度で収穫します。さらに遅れ穂が多く、青未熟粒が懸念される場合は収穫時期を右記の範囲で数日遅めにします。降雨が多く刈り遅れ、茶米の発生が懸念される場合は収穫時期を上記の範囲で数日早めます。

また、登熟期間の高温が予想される場合は、出穂期前後に1Nkg/10

a追肥します。「にじのきらめき」は葉色が濃いので紋枯病、カメムシ類、コブノメイガ、ウンカ類の発生に注意し、適切に防除します。

おわりに

品種特性に応じた栽培技術を組み合わせ、高温条件下でも品質と収量を確保しましょう。

栽培層の改定と同時に「にじのきらめき」の栽培方法を「コシヒカリ」と比較したチラシを作成しました。左記QRコードから入手できますので活用ください。

にじのきらめきの栽培方法チラシ



にじのきらめき栽培層



お問い合わせ先
磐田市富丘678-1
静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
Mail: agrisuiden@pref.shizuoka.lg.jp
TEL: 0538-33-0678

生活葬祭課からのお知らせ

生活葬祭課は、JAとびあ浜松と(株)とびあサービスと協力し、「ファーマーズマーケット東店」店内改装にあわせて、エコープマーク品、ニッポンエール商品、飲料の商品棚割提案を行いました。改装日には当課職員も陳列をサポートしました。

改装にあたり、エコープ品の売場を一ヶ所に集約、売場を拡張しました。すでに取り扱いがあるアイテムに加え、エコープ品は菓子やパンなど約13アイテム、ニッポンエールはグミやゼリーなど約20アイテム、飲料は本会ブランド飲料や県外提携JA飲料など約7アイテムを新たに販売しています。特にエコープ「もちもちミルクパン」シリーズや菓子類が好評で、エコープ品などの売上は昨年同期比で約2倍と大盛況となっています。お近くにお越しの際は「JAとびあ浜松ファーマーズマーケット東店」へぜひ、お立ち寄りください！

生活葬祭課では引き続きJA直売所へエコープマーク品などの提案を行っていきます。

エコープマーク品の特徴

- ～JAグループが品質を保証～
- ・国産原材料の優先使用
 - ・安全・健康に配慮した品質基準
 - ・地球環境にやさしい



▲エコープマーク品



▲ニッポンエール(ゼリー)



▲ニッポンエール(グミ)



▲飲料

JAとびあ浜松 ファーマーズマーケット東店
住所：浜松市中央区貴平町655-1
電話：053-433-0300
営業時間：年中無休（年末年始除く）9時～17時

JA農業機械 大展示会のご案内

6月27日（金）・28日（土）の2日間、ツインメッセ静岡 北館大展示場で、「令和7年度JA農業機械大展示会」を開催します！

各メーカーによる農業機械・農業資材の展示・販売の他、中古農機の抽選販売や小学生以下のお子様限定のガラガラ抽選会などイベントも実施します。ぜひお越しください！

日時：令和7年6月27日（金）、28日（土）
（両日とも9：00から15：00まで）
場所：ツインメッセ静岡 北館大展示場
（静岡市駿河区曲金3丁目1-10）
駐車場有（有料）／入場無料

担当：生産資材部 農業機械課（TEL：054-622-3455）



職員紹介

JA静岡経済連で活躍する令和7年度新入職員を紹介します



企画管理部 企画管理課
まつい ゆうな
松井 優奈

■趣味・特技

趣味は愛犬と戯れることです。ラブラドルレトリバーを飼っていて家に帰るとしっぽをブンブン振ってお出迎えしてくれることがとても癒しです。

■担当業務

主に広報業務を担当しています。イベントなどを取材し、広報誌や新聞に掲載する記事の作成を行ったりホームページの情報更新をしたりしています。今までカメラを使ったことはありませんでしたが、目を引くような写真が撮れるよう努力しています。

■コメント

入会して2ヶ月ほど経ちました。広報として他の部署と関わることが多くありますが、知識不足を日々感じます。それぞれの部署の活動を広く発信できるよう頑張っていきます。

■趣味・特技

趣味はソフトテニスです。小学生の時に始め中学、高校はテニス部に入部し、たくさんの経験をしてきました。今では週一ですがテニスをし、体を動かすようにしています。

■担当業務

全会的な総務業務や、文書管理・備品管理などの庶務全般、役員のスケジュール管理などを担当しています。現業部署の皆様のバックアップができるよう意識して取り組んでまいります。

■コメント

覚えることが多く大変ですが、一日でも早く仕事を覚え経済連の職員として皆様のお役に立てられるよう頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



総務部 総務課
さとう みく
佐藤 未来



営農総合対策部 茶業課
そね みきと
曾根 幹斗

■趣味・特技

休日は家で過ごすことが多く、映画やドラマを見たり、気になる分野の本を少しずつ読んでいます。気分転換にもなり、気持ちをリセットする時間として大切にしています。今後は、楽しみ方の幅を広げていきたいです。

■担当業務

茶業課では指導事業から購買事業まで幅広く業務を展開する部署の中で、新卒職員として各業務を一通り経験させていただいています。どの業務も新鮮で、日々少しずつ仕事の流れを掴みながら取り組んでいます。

■コメント

日々の業務の中で学ぶことが多く、自分の未熟さを実感する毎日です。今後も焦らず、一步步づつ着実に経験を積み重ねていけたらと思っています。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

子どもたちの学校給食のお米が足りません!

JAにお米を 出荷してください。

おいしいお米が
たべたいよう...



静岡県内の小中学校等では
静岡県内で穫れた
お米を使用しています。

しかし昨年のJAグループの
出荷減少により、

地元のお米が足りません。

子どもたちにおいしい静岡の
お米を味わってもらえるよう
ご理解・ご協力をお願い
いたします。



しずおかの農業を守り育み
安全安心でおいしい農畜産物のある
豊かな暮らしをお届けします。

(公財)静岡県学校給食会
静岡県産米麦流通連絡協議会

 県下JA・静岡経済連

くらし支援部 食糧課

TEL : 054-284-9737

